



目瀨

サンタフェ市は、歴史・政治都市ですが一味違ったまちとの説明でした。ライデン市は学園都市で、ベルサイユ市は観光・サービス産業都市といった性格を持っています。国内の都市はそれぞれ400年の歴史を持つっており、高山市は人口6万7、000人で年間の観光客300万人のまさに観光都市。津和野町は、人口が6、000人ですが観光客数は年間120万人という観光の町です。津山市は人口9万人、観光客はなかなかつかみにくいですが、50万人程度。お城が残っていたれば観光都市だったかもしれません。商業都市といえます。

まず、歴史資産を地域づくりにどのように活かしているか。さらに、それを続けていくにはどんな工夫があるか。将来のプランもお聞かせください。

デルガド

サンタフェ市では、税収の40パーセントが観光産業から入っています。歴史資産を維持することは文化を維持することで

そこに住む人によって文化が培われてきました。サンタフェに来たら文化と歴史遺産とが共存してきたことを確認することが出来ます。私たちに必要なのは、さらに観光産業を興していくこと。それによって新規雇用が生まれ、歴史資産のまちが維持できます。文化のまちとしての評判と人々がそこに息づいていることを私たちは守つ

ていきたいのです。
土野
高山市は観光資産を活用した成功事例だと思います。すでに観光都市としては成熟し、今後は新たな視点も必要になっています。幸いなことに今回、国の重要伝統的建造物群の新しい指定を受けていることにより面的な広がりが生まれ、観光資源として活用ができると思います。

ます。同時に、バリアフリーのまちづくりをすることで新しい観光都市をめざしていこうと考えています。
レンフリック
住む人々にとって歴史資産は重要で、それに対して愛情を持っていきます。そこに住んでいること自体が価値を持ち、歴史資産は都市にとって観光産業や企業誘致などの売り込みを可能にします。私

はまちの中心部（旧市街地）の質を上げていくことをめざしており、歴史的な価値をうまく活かしていくためにいろいろ活動を取り入れていきたいと考えています。
中島
有形の文化財は完全に保存しておけば、いつでも観光客に見てもらえると考え、守ってきました。そして、無形の遺産を有形のものに合わせて観光資源としていかなければならないと考えています。文化遺産と新しい文化を組み合わせながら注目を浴びる町にしようという取り組みんでいます。

ピユフエト
ベルサイユは、豊かな歴史遺産を保存し、その中には世界遺産もあります。これらを活かして、ベルサイユで宿泊してもらうことにつなげていきたいと考えています。そのために、宮殿内で新たな文化活動を進めています。

また、知名度を活かして企業誘致にもつなげていきたいと思っています。



桐生和幸 美作大学助教授 目瀨守男 美作大学学長

2th World "Lead-off City" Conference 2004